

トルコ為替週報

2023年11月7日 | みずほ銀行欧州資金部

<過去1週間の動き>

(10月31日～11月6日)

USD/TRY: 28.2375～28.6244

TRY/JPY: 5.22～5.36 (参照値)

過去1週間のトルコ・リラは終値ベースでは引き続き、じりじりと対ドルで続落している。先週最大の焦点となっていたトルコ中央銀行(TCMB)の四半期インフレーションレポートでは、インフレ見通しが全体的に引き上げられたほか、エルカン総裁は記者会見において金融引き締め継続の方針を明確にしており、タカ派的な内容だったが、通貨リラの反応は限定的となった。

11月2日に公表されたTCMBの四半期インフレーションレポートでは、今後2年間のインフレ見通しが引き上げられ、金融引き締めを強化する方針が示されている。2023年末のインフレ率の見通しは前年比+65%と、7月時点の同+58%から引き上げられた。2024年末については同+36%と、これまでの同+33%から上方修正された。インフレ率のピークは来年5月で、前年比+75%まで上昇すると見込まれている。エルカン総裁は記者会見において、「インフレ率が顕著に改善するまで金融引き締めは続くだろう」と述べている。現在35%の政策金利が少なくとも40%台まで引き上げられる可能性は一段と高まったと言えよう。四半期インフレーションレポート公表の翌日に発表された10月分の消費者物価指数(CPI)は前年同月比+61.36%と9月分の同+61.53%からわずかながら伸びが減速、同+62.5%への加速を見込んでいた市場予想を下回った。もっとも、内訳を見ると、賃金上昇圧力を反映しやすいサービス品目の価格上昇が際立っている。宿泊・外食は前年同月比+94%、教育や医療関連は同+80%超の上昇となっている。トルコ政府は今年に入り2度の最低賃金の大幅引き上げを実施し、昨年から最低賃金の上昇率は前年比+107%に達している。中東情勢の緊迫化に伴う原油の国際取引価格の上昇、通貨安といった要因も考慮すれば、先行きインフレ率の再加速の可能性は高いだろう(上述の通り、TCMBも2024年5月にかけてインフレ率が再加速する見通しを示している)。先週は国内の政治情勢にも動きがあった。最大野党・共和人民党(CHP)の党首選では、5月の大統領選で野党の統一候補となったクルチダルオール氏が敗れ、オズグル・オゼル氏が党首に選出された。オゼル氏については本職が薬剤師で10年以上CHP議員を務めていると報じられている。クルチダルオール氏が大統領選でエルドアン氏を追い詰めきれなかったことへの批判が強かったものと見られる。党勢がそがれるなか、来年3月の地方選挙でも、最大都市イスタンブールや首都アンカラを含む重要都市が与党・公正発展党(AKP)に奪還されるのではないかと、という見方も強まっていた模様だ。

<過去1週間に発表された主要経済指標等>

月日	GMT	指標	期間	予想*	実績	前回
10/31	08:00	観光客数(前年比)	9月		5.7%	5.7%
11/3	07:00	CPI(前年比)	10月	62.5%	61.36%	61.53%

(*予想はブルームバーグ社予想中心値)

<向こう1週間の見通し>

(11月7日～11月13日)

USD/TRY: 25.00～29.00

TRY/JPY: 5.00～6.00

今後1週間のトルコ・リラ相場は続落する公算が大きい。本来、TCMBの金融政策の動向はリラ相場の最大のカタリストとなるべきものだが、これまでのところ、タカ派的なメッセージに対する市場の反応は限定的となっており、投資家のトルコ市場に対する慎重姿勢はなお根強い。実質政策金利が大幅なマイナスとなっていることに加え、中東情勢の緊迫化や、米長期金利の動向への警戒が続いていることを踏まえれば、市場のセンチメントがすぐに改善することは見込みにくい。また、トルコの経常収支は夏場の観光シーズンに改善した後、秋から冬にかけては観光収入の低迷を主因として悪化する傾向がある。こうした季節性も、当面のリラ相場にとって重石となる公算が大きい。

<向こう1週間に発表予定の主要経済指標等>

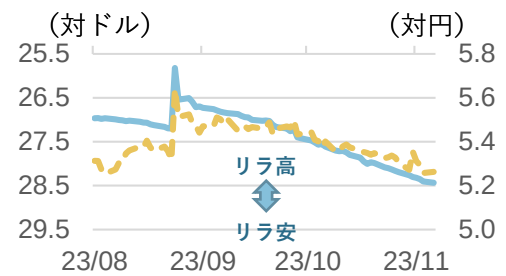
月日	GMT	指標	期間	予想*	実績	前回
11/10	07:00	鉱工業生産(前年比)	9月	2.8%		3.1%
11/13	07:00	経常収支(USD)	9月			-0.62b

(*予想はブルームバーグ社予想中心値)

トルコ・リラの推移

実線: 対ドルレート(左軸、逆目盛)

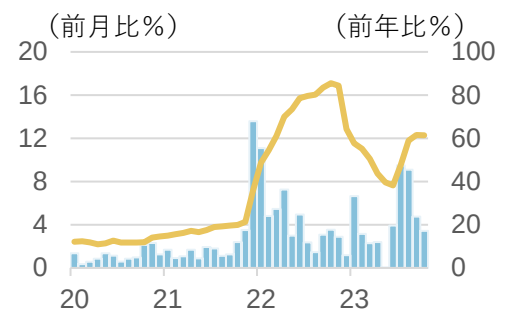
点線: 対円レート(右軸)



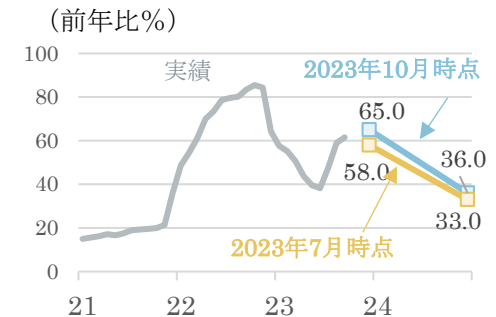
トルコ 消費者物価指数(CPI)

棒グラフ: 前月比(左軸)

折れ線: 前年同月比(右軸)



トルコ中央銀行 インフレ予測値



(資料: トルコ統計局、トルコ財務省、ブルームバーグ)

<文責>

欧州資金部

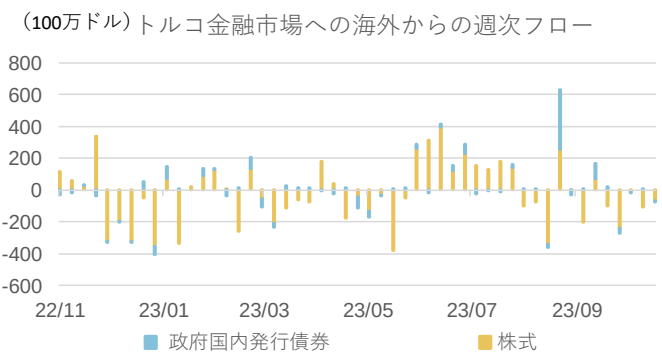
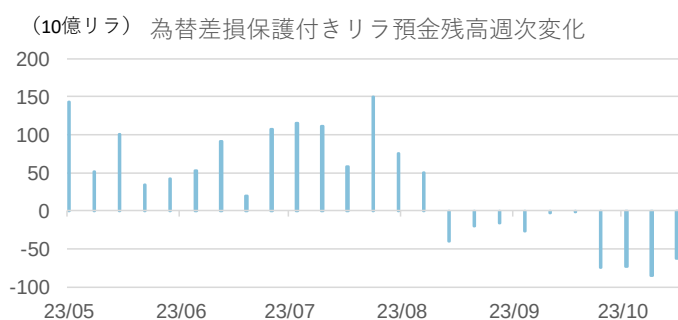
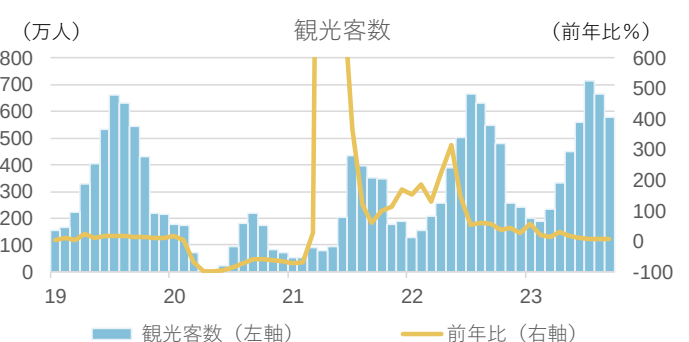
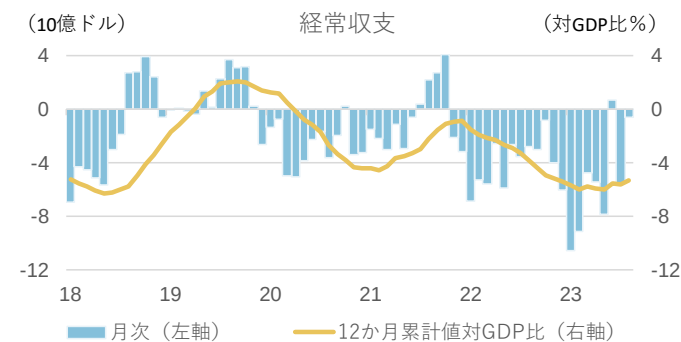
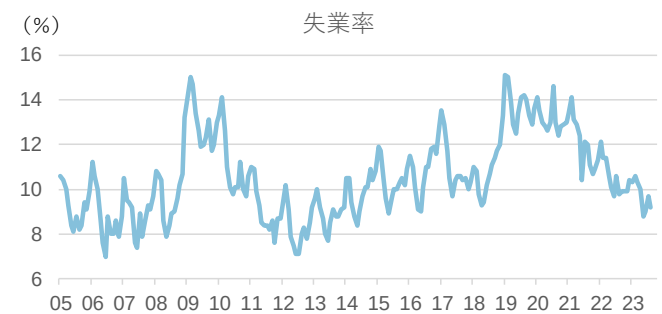
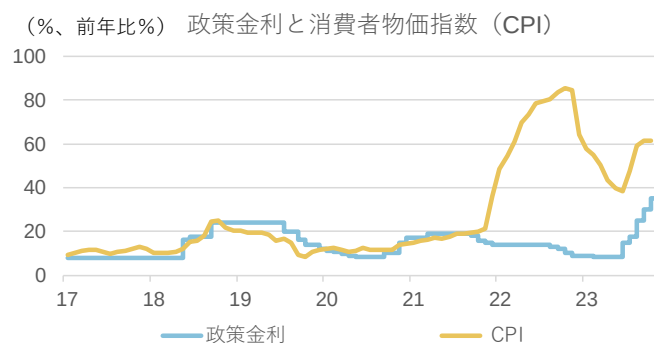
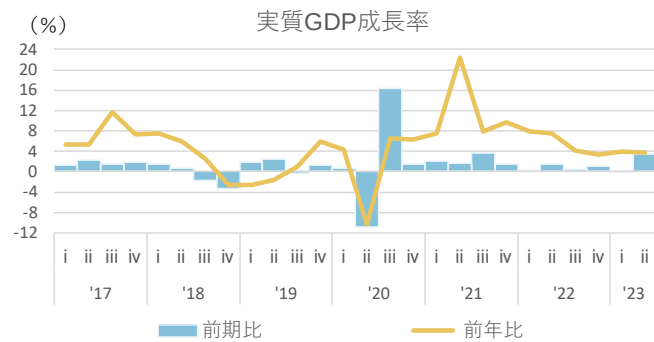
シニア為替ストラテジスト

中島 将行

masayuki.nakajima@mhcb.co.uk

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

<主要経済指標の推移>



(資料：トルコ中央銀行/トルコ統計局/ブルームバーグ/みずほ銀行)

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。